



年度末を迎えて…

校長 中基 信夫

年度末は学校にとっては“師走”といったところ。生徒の進級に関わる業務はもちろん、先生方の異動もあり、その処理にも追われます。加えて、新学期からの授業に関わる準備も…。といったように、この春休みは教職員にとっては多忙の極みといったところですよ。

しかしながら、そんなことに関係なく季節の移り変わりは確実にやってきて、うっかりしていると校庭の桜を見損なってしまったりすることも…。昨年は入学式の時期になっても桜の花は満開になっていなくて、ちょっと新生生には申し訳なかったなあ…などと思った記憶が残っています。ところが今年は随分前倒しに開花するようで、このままいったら入学式の時には葉桜になってしまっているのではないかと、またまた心配しているところです。

小学校6年間で立派なお兄さんお姉さんに成長した新生生を、我々はこれからの3年間で一人前の若者に育てるという責任があります。そんな新生生を白井中の満開の桜の木の下で迎えたいのですが、今年は果たして…。

